

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.5 億円
		通常砂防事業 ひのそ南 ^{みなみ} 谷川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
城崎郡 城崎町 ^{うやま} 上山			17年度	17年度	19年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、JR山陰本線、県道、災害時の指定避難場所を保全する。	・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m , L = 50.0m) 〔負担割合 国：1 / 2、県：1 / 2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ひのそ南谷川は土石流危険渓流である。 ・溪流の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・溪流勾配は約1 / 5と急で、渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象：人家 = 5戸、公共施設 = JR山陰本線、(主)豊岡港線、町道 一時避難場所(避難所)、その他 = 上山公民館、寺院、田畑 = 0.28ha
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、JR山陰本線、第二次緊急輸送道路である(主)豊岡港線を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域、山村振興指定地域及び過疎対策法対象町に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家5戸)に加え、JR山陰本線、(主)豊岡港線、災害時の指定避難所である一時避難場所が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家5戸、JR山陰本線、(主)豊岡港線、災害時の指定避難所である一時避難場所、上山公民館、寺院がある。 ・流域の荒廃が激しく進み、土砂流出の危険性が高く、上山地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。